

環境経営レポート

(エコアクション21)

2025年度版

株式会社 サンエイ

発行日 2026年 3月18日

(対象期間 2025年3月～2026年2月)

承認	作成
北村	鈴木

目 次

1 環境経営方針	2
2 環境組織図	3
3 事業活動の概要	4
1) 事業社名及び代表者名	4
2) 所在地	4
3) 環境管理責任者及び連絡先	4
4) 事業内容	4
5) 事業規模	4
6) 保有設備	4
4 3か年中期計画、経営目標の 実績と評価及び次年度の取り組み	5
4-1 3か年計画及び次年度の 環境経営目標	5
4-2 経営目標の実績と評価	5
5 環境経営計画	6
6 環境経営の実績と評価 並びに次年度の取り組み	6
6-1 活動表	6
6-2 経営計画の半期の確認	7
6-3 環境経営の実績と評価 並びに次年度の取り組み	7
6-4 その他の環境経営活動の取組	8
7 環境関連法規制等の遵守の確認	8
8 代表者による評価と見直し結果	9

環 境 経 営 方 針

「基本理念」

環境汚染の予防と環境保全継続的改善により、地球温暖化の防止と循環型社会の形成をめざす。

環境に配慮して行動をする。

「基本方針」

この理念のもと、プラスチックフィルムの加工会社として日々の事業活動が環境に与える負荷を考慮し、以下の環境保全活動を推進する。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行なう。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営と環境保全実績が継続的に改善できるように推進する。
3. 次の項目を環境保全の重要項目として、環境目標を設定し、必要があれば、見直すなどの効果的な取り組みを行なう。
 - ①省資源、省エネルギーの推進による二酸化炭素排出量抑制
 - ②廃棄物の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④環境関連法の遵守
 - ⑤溶剤などの化学物質使用量の把握
 - ⑥環境に配慮した製品造り
4. この環境方針を達成するために、教育・訓練の実施、内部コミュニケーションの活性化により、環境保全活動に関する意識をたかめる。

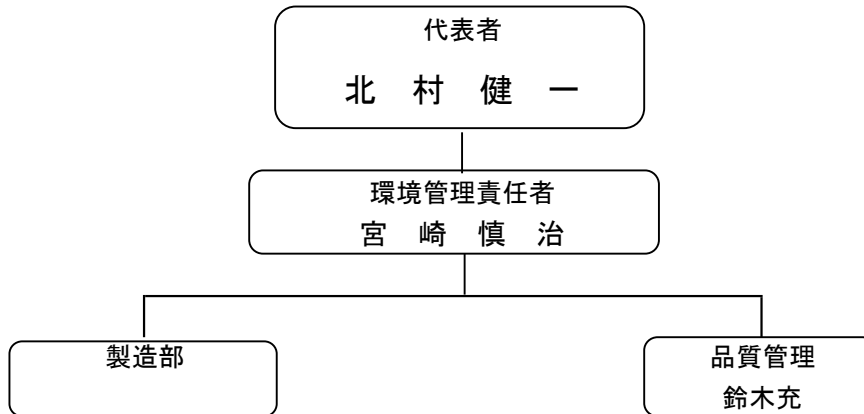
作成日	平成21年10月 1日
改訂日	令和2年 4月 3日

株式会社 サンエイ
代表取締役

北 村 健 一

作成日	平成21年10月 1日
改訂日	令和2年 4月 3日

【環境経営組織図】



①代表者

- a) 環境方針を定め、誓約する。
- b) 環境への取り組みに必要な資源(人・もの・金・情報)を適切に準備する。
- c) エコアクション21全体の取組状況を評価し全般的な見直しを実施する。
- d) 環境経営を、エコアクション21の要求事項に基づいて構築し運用する。
- e) 環境管理責任者の任命。
- f) 課題とチャンスを明確にする。

②環境管理責任者

- a) 環境経営をエコアクション21の要求事項に基づいて構築運用し、社内に環境経営を推進する。

③品質管理

- a) 部門が取り組むべき事項「廃棄物のリサイクル・節水・節電」での取り組みと、手順書に基づく日々の取組活動推進。

④製造部

- a) 部門が取り組むべき事項「電気使用量の削減・廃棄物の削減・節水・緊急事態への対応」での取り組み及び教育と、手順書に基づく日々の取組む活動。

3. 事業活動の概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 サンエイ
代表取締役 北村健一

2) 所在地

東京都墨田区墨田2丁目6番地2号

3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者： 宮崎 慎治
電 話： 03-3610-1951
F A X： 03-3610-1952
E-mail： s.miyazaki@kk-sanei-seal.co.jp

4) 事業内容

プラスチックフィルム等の打ち抜き、カット
各種シール材、OA機器、通信機器部品の製造

5) 事業規模

法人設立年月日： 昭和 59年 9月 30日
資本金： 1000 万円
主要製品出荷額： 34100 万円(令和4年度)
従業員数： 21 人(令和8年3月現在:パート含む)
敷地面積： 148.77 m²(床面積545.86m²)

6) 保有設備

機械名	台数	機械名	台数
スーパーカッター	2		
連続打抜機PAL	2		
三軸制御式自動打抜機	1		
連続ハーフプレス(2.2kw)	1		
トリミングプレス(2.2kw)	1		
トリミングプレス(1.5kw)	1		
トリミングプレス(0.75kw)	2		
画像寸法測定器	1		
改訂日	平成30年1月27日		

4. 3カ年計画及び次年度の環境経営目標と実績と評価

4-1 3カ年計画及び次年度の環境経営目標

2023年度(2023年3月～2024年2月)の実績データを基準としてそこから毎年0.5%削減したデータを基準とします。

年度目標	2023年度実績 (基準年度)	2025年度 (2023年度実績から 1%削減)	2026年度 (2023年度実績から 1.5%削減)	2027年度 (2023年度実績から 2%削減)
二酸化炭素排出量 (kg・CO2)	23494	23259	23142	23024
電気使用量 (kWh)	45209	44759	44531	44305
ガソリン使用量 (ℓ)	1826.95	1808.68	1799.55	1790.41
都市ガス (m ³)	752	743	741	737
廃棄物排出量 (t)	39.7	39.3	39.1	38.9
水使用量 (m ³)	713	707	702	699

1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量は東京電力(0.390kg-CO₂/kWh)、ガソリン使用量(2.322kg-CO₂/L)、都市ガス使用量(2.16kg-CO₂/m³)から算出される二酸化炭素の合計としました。

4-2 経営目標の実績と評価

実施期間12ヶ月比較		2025年度の目標値	2025年度実績値	増減 (%)	評価 増減
二酸化炭素排出量) (KgCO2)		23259	24751	6.4%	×
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量 (kWh)	44759	48609	8.6%	×
	ガソリン使用量 (ℓ)	1808.68	1793.36	-0.8%	○
	都市ガス(m ³) (m ³)	743	756	1.7%	×
廃棄物排出量(t)		39.3	37.6	-4.3%	○
水使用量(m ³)		707	641	-9.3%	○

5. 環境経営計画

環境目標	活動計画	取組内容
1) 二酸化炭素排出量の削減 電気使用量の削減 ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要照明の消灯の徹底、節電ステッカ貼付 空調の設定温度 冷房時28°C、暖房時20°C パソコン等OA機器の不使用时電源OFF アイドリングストップの励行 エコドライブの徹底、低速走行の励行、急発進の中止 エアコンの設定温度 冷房時28°C、暖房時20°C 	<ul style="list-style-type: none"> 昼休み、帰宅時の電気の消灯 節電ステッカ貼り付け済み 空調温度設定の実施 昼休み、帰宅時の電気の消灯 アイドリングストップの実施 エコドライブの実施 エアコン温度設定の実施
2) 廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 廃プラスチックの分別・資源化 加工残プラスチック端材のリサイクル化（端材の再利用の活用する） 包装資材のリサイクル（入荷した箱・梱包材の再利用をする） 	<ul style="list-style-type: none"> 産廃とリサイクルの分別 端材をなるべく使用する 梱包材、箱を再利用する
3) 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 節水ステッカを洗面所等に貼付 こまめな止水 節水こま装着を水洗に設置 	<ul style="list-style-type: none"> 節水ステッカ貼り付け済み ステッカによる呼び掛けの実施 節水こまの装着済
4) 環境関連法規制の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 家電リサイクル パソコン、エアコン、冷蔵庫 マニフェストの管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書 フロン排出抑制法 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、エアコン、冷蔵庫のリサイクル化 マニフェストの5年間保管 報告書の提出 簡易点検の実施
5) 化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 溶剤等の購入量の把握を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> トルエン・メチルアルコールの購入量の把握
7) サービス提供	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した材料を使用した製品造り 	<ul style="list-style-type: none"> RoHS等の材料の購入 材料証明書の管理

6. 経営計画の実績と評価並びに次年度の取り組み

6-1 活動計画表

2025年度(2025年3月~2026年2月)	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	確認
二酸化炭素排出量の削減	→												○
電気使用量の削減	→												○
ガソリン使用量の削減	→												○
破棄物排出量の削減	→												○
水使用量の削減	→												○
環境関連法規制の遵守	→												○
化学物質	→												○
サービス提供	→												○
活動データの記録	→												○
半期の活動確認						○							○

6-2 経営計画の半期の確認 (2025/8月に実施)

環境目標	半期の取り組み評価	増減
1) 二酸化炭素排出量の削減	電気・ガスの使用量が半年の半分以上がオーバーしている	+6.99%
電気使用量の削減	エアコンの使用が増えて3月～8月までの半年間オーバーしている	+10.44%
ガソリン使用量の削減	お客様の訪問が多く、営業へ赴く回数が減った	-3.79%
2) 廃棄物排出量の削減	2023年3・4月に型の処分があったが、今年度は処分が無いため大幅に削減されている	-17.84%
3) 水使用量の削減	使用量の削減が出来ていて大幅に使用量が減った	-7.78%
4) 環境関連法規制の遵守	法律関連に関して特に変わりがなかった	—
5) 化学物質	5月にトルエン・メチルアルコールの購入有り(各16ℓ)	—
6) サービス提供	環境に配慮した材料の使用していて特に問題なし	—

6-3 経営計画の実績と評価並びに次年度の取り組み

環境目標	取組内容	増減	評価/次年度の取組
1) 二酸化炭素排出量の削減	・電気・ガソリン使用量の削減による排出量の削減	× +6.4%	電気・ガスの使用量が増えて大幅にオーバーした 計画の見直しを検討
電気使用量の削減	・不要照明の消灯の徹底、 節電ステッカー貼付 ・空調の設定温度 冷房時28℃、暖房時20℃ ・パソコン等OA機器の不使用时電源OFF	× +8.6%	気候変動によりエアコンの稼働率が増えた 後期もエアコンの使用を減らすことが難しかった 計画の見直しを検討
ガソリン使用量の削減	・アイドリングストップの励行 ・エコドライブの徹底、低速走行の励行、急発進の中止 ・カーエアコンの目標設定温度 冷房時28℃、暖房時20℃	○ -0.85%	10月以降、部品の納品のため、車での配達が増えた 次年度も継続とする
2) 廃棄物排出量の削減	・廃プラスチックの分別・資源化 ・加工残プラスチック端材のリサイクル化(端材の再利用の活用する) ・包装資材のリサイクル(入荷した箱・梱包材の再利用をする)	○ -4.3%	10月以降試作の注文が増えて材料の使用(端材が増えた) 次年度も継続とする
3) 水使用量の削減	・節水ステッカーを洗面所等に貼付 ・こまめな止水 ・節水こま装着を水洗に設置	○ -9.3%	各月で使用量が大幅に減り木量をクリア出来た より使用量が減った
4) 環境関連法規制の遵守	・家電リサイクル ・manifestの管理 ・フロン排出抑制法	○	リサイクルは無し ファイルに管理 簡易点検の実施 次年度も継続とする
5) 化学物質	・溶剤等の購入量の把握を行います。 トルエン・メチルアルコールの年間購入量	○	トルエン 計32ℓ購入 メチルアルコール 計16ℓ購入 次年度も継続とする
6) サービス提供	・環境に配慮した材料を使用した製品造り ・お客様より指定・支給された材料の把握(RoHS等)	○	RoHS等の材料の使用を勧めている 材料証明書の一部保管 次年度も継続とする

6-4 その他の環境経営活動の取組

- ・環境方針の変更はありません。
- ・環境組織図の変更はありません。
- ・火災訓練、教育訓練は2025年7月に実施しました。
- ・産業廃棄物管理票交付状況報告書は2025年5月に都知事に送付しました。

7. 環境関連法規制等の遵守の確認

環境関連法規制	内 容	確 認
廃棄物処理法	・委託契約書、許可証の確認 ・マニフェストの管理	遵 守 遵 守
健康安全確保の環境条例	・アイドリングストップの実施	遵 守
家電リサイクル法	・特定家電機器の再製品化 (廃棄時に対応)	遵 守
自動車リサイクル法	・使用済自動車の再資源化 (廃棄時に対応)	遵 守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	・業務用エアコンの簡易点検	遵 守

1) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無について

- ・環境関連法に関する法律違反や環境に関する苦情等はありませんでした。

2025年度、代表者による全体の評価と見直し記録

実施日	2026年3月17日	実施場所	
参加者	北村・宮崎・鈴木	記録作成日	2026年3月17日
		作成者	北村

A: 前回の指示への取組結果

前回の指示事項	取組結果
特になし	

B: 今回の評価結果

見直しに必要な情報 (環境管理責任者の報告事項)	代表者の評価結果 (有効に機能しているか、適切に実施されているか)
1.目標の達成状況 CO ₂ 排出量の削減は未達成 +6.4% 電気使用量の削減は未達成 +8.6% ガソリン使用量の削減は達成 -0.85% 廃棄物排出量の削減は達成 -4.3% 水使用量の削減は達成 -9.33%	環境に取り組んでいる社員や、記録の継続などは、十分に有効に機能していると思います。また、実施状況も良いと思います。 電力使用量は、冷暖房の問題が大きく、猛暑・酷暑と言われるように暑い夏・寒い冬に振り回されています。達成した目標も有ることを励みにして頑張っていきたいです。
2.環境活動計画の実施及び運用結果 ※環境目標の設定、削減目標については、引き続きこのまま継続でいいと思います。 ※電気使用量は、上記の通り外気温度の変化が影響していると思います。 ※産廃は、受注内容によっては、多くなってしまうリスクも有りますが、今回はうまくいきました。 ※ガソリン使用量の減少は、営業方法の工夫や納品方法の効率化などが、寄与してきたと思います。 しかし、イラン戦争のようなリスクで、輸送コストが上がるとどうなるか、先が見えません。 ※石油価格や、日米中の外交通商問題など、景気に悪いニュースばかりですが、なんとか社員と力を合わせて頑張りたいと思います。 これからも引き続き取り組んでまいります。	
3.環境関連法規等の順守状況	問題なし
4.外部環境情報受付/対応票	特になし
5.その他	

C: (環境管理責任者への)指示内容

指示項目	変更の有無	代表者の指示内容
1.環境方針	無	継続の事
2.環境目標	無	継続の事
3.環境活動計画	無	継続の事
4.実施体制	無	継続の事